

# 北朝鮮弾道ミサイル発射事案に係る 情報連絡会議

## 【日時】

令和4年3月24日（木）午後6時から

## 【場所】

災害対策本部室（鳥取県庁第2庁舎3階）

## 【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、総務部、農林水産部

鳥取県警察本部

※市町村、各総合事務所には、映像配信

## 【議題】

- （1）事案の経過と現状
- （2）県の対応方針
- （3）その他

# 1 ミサイル発射の状況（報道内容）

## 【発射日時】

令和4年3月24日（木）午後2時33分頃

## 【ミサイルの種類及び発射数】

弾道ミサイル（ICBM級）とみられるもの1発

## 【発射地点】

平壤郊外順安国際空港付近

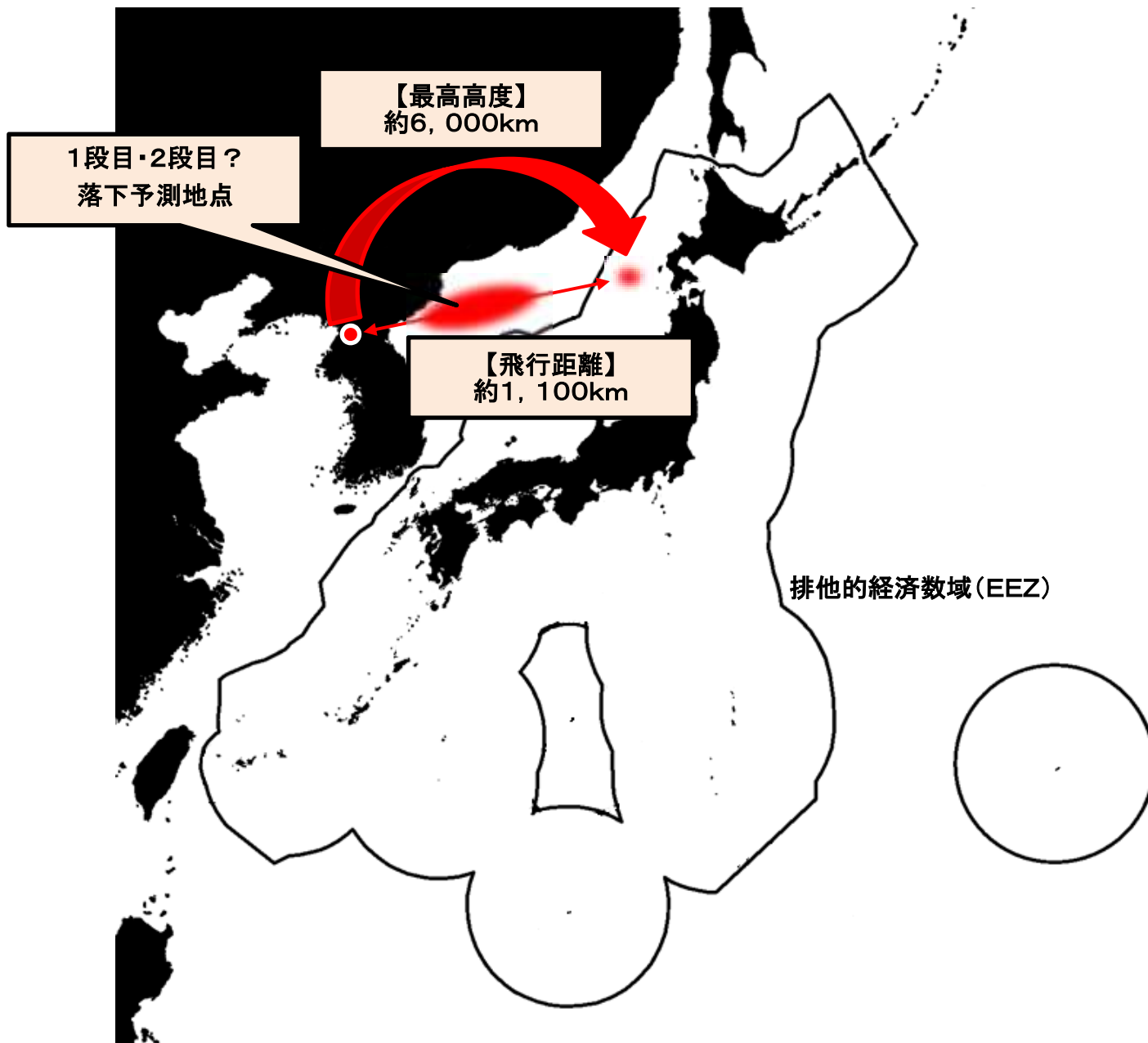
## 【落下推定位置】

日本の排他的経済水域（EEZ）内～北海道渡島半島の西約150kmと推定

※ロフテッド軌道で約1,100km飛行、最高高度は約6,000km以上と推定

飛行時間は約71分間と推定（15:44頃着弾の様相）

# 本日(24日)に発射された弾道ミサイルの飛翔状況(イメージ)



**(資料) 令和4年に入ってから  
の北朝鮮ミサイル発射状況**  
**※ 今年に入って11回目(ロケットを除く。)**

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
①	1月5日 (水)	極超音速ミサイル 1発	茲江道	日本海 (EEZ外)	約50km (通常より低い)	約500km
②	1月11日 (火)	極超音速ミサイル 1発	茲江道	日本海 (EEZ外)	約50km (通常より低い)	700km以上
③	1月14日 (金)	戦術誘導ミサイル 2発 (鉄道発射型/固体燃料)	平安北道義州付近	北朝鮮東岸付近	約50km	約400km
④	1月17日 (月)	戦術誘導ミサイル 2発 (固体燃料)	平壤郊外の 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近	約50km	約300km
⑤	1月25日 (火)	巡航ミサイル 2発	咸鏡南道	日本海 (EEZ外)	—	1,800km (北朝鮮発表)
⑥	1月27日 (木)	地对地戦術ミサイル 2発 (車両発射型)	咸鏡南道咸興付近	北朝鮮東岸付近の 無人島	約20km	約190km
⑦	1月30日 (日)	中距離弾道ミサイル 「火星12型」 1発	茲江道無坪里付近	日本海 (EEZ外)	約200km (ロフテッド軌道)	約800km
⑧	2月27日 (日)	大陸間弾道ミサイル級 1発	平壤郊外の 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近	約600km	約300km
⑨	3月5日 (土)	大陸間弾道ミサイル級 1発 ※ICBM級は2017年11月以来	北朝鮮西岸付近	北朝鮮東岸付近	約550km	約300km
⑩	3月16日 (水)	大陸間弾道ミサイル級？ 1発	平壤郊外の 順安国際空港付近	空中爆発？ (失敗？)	高度20km以下	不詳

## 2 日本政府の動き

3月24日 内閣官房公表

- 1 総理は、主要7か国首脳会合に出席するためベルギー・ブリュッセルに向かっている機中から
  - ①情報収集・分析に全力を挙げ国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
  - ②航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
  - ③不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示するとともに、総理不在中の臨時代理で松野官房長官に対し、NSC（国家安全保障会議の4大臣会合）の開催を指示した。（G7首脳会合の日程には影響がない見込み）
- 2 官邸危機管理センターに設置している北朝鮮に関する官邸対策室で、関係省庁間で情報を集約するとともに、緊急参集チームを招集して対応を協議した。
- 3 国家安全保障会議の4大臣会合を開催するとともに、「国民の生命や財産を守り抜くため、引き続き情報の収集分析や警戒監視に全力を挙げ、今後、追加して公表すべき情報を入手した場合は、速やかに発表したい。」と述べた。
- 4 「今回の弾道ミサイルは2017年11月のICBM級弾道ミサイル「火星15号」の発射時を大きく超えるおよそ6,000km以上の高度で飛翔したことを踏まえれば、今回発射されたものが、新型のICBM級弾道ミサイルであると考えるが、詳細については引き続き分析中」と述べた。

## 【総理コメント】

令和4年3月24日

「許されない暴挙であり、断固非難する」

### 3 県の対応状況(初動対応)

14:38 内閣府からミサイル発射情報受信

→直ちに漁船等の安否確認を開始

→職員参集メール等で庁内情報共有

15:15 鳥取県関係の安否確認完了

15:51 内閣府からミサイル落下推定  
情報受信

※北海道・青森県沖での漁船  
の操業はないことを確認

16:08 知事コメント発表



## 【知事コメント】

令和4年3月24日

世界平和を希求する今、ミサイル発射は  
暴挙にほかならない。

県関係船舶の安全は確認したが、政府は  
拉致問題解決も含め、国際社会とともに厳正  
に対処して欲しい。



## 【拉致被害者家族(松本 孟 氏)コメント】

令和4年3月24日

現在、ロシアのウクライナ侵攻について、世界中の関心が集中している中で、危険をあおる今回のような挑発行為は、大変、腹立たしい。

かく乱を招く無駄で危険な行為であり即刻やめてほしい。

拉致問題については、引き続き、折り合いがつくまで圧力をかけ続け、着実に解決に向けて進めていってほしい。

# 【県の体制】

＜情報収集・連絡調整＞

◆市町村・関係機関との連携

◆情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

## ■Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送(鳥取県では、近畿、中国、四国地方に飛来する可能性がある場合のみ)

## ■エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達(メールによる添付ファイル送付)

## ■消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

＜住民等への情報提供＞

■県ホームページ(携帯電話用も含む。)、あんしんトリピーメール、ツイッター、フェイスブック、Lアラート、災害情報ダイヤル(電話0857-26-8100)、Yahoo! 防災速報による情報提供

■報道機関、市町村を通じた情報提供

◆各部局の対応

<p>危機管理局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の収集、集約及び伝達</li> <li>・国、市町村、関係機関（自衛隊・海上保安庁・警察・消防）との連絡調整</li> <li>・住民広報（令和新時代創造本部と共同）</li> </ul>
<p>交流人口拡大本部 （観光戦略課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下後の国内便への安否確認</li> </ul>
<p>農林水産部 （水産課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下区域操業予定の漁船の把握</li> <li>・漁協、漁船関係者への注意喚起</li> </ul>
<p>教育委員会 （教育総務課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋練習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認</li> </ul>
<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万万が一に備えた対策</li> <li>「屋内退避等の呼びかけ準備」</li> <li>「県内に着弾した場合の対応準備」</li> </ul>